

書籍即売会のお知らせ

11.1 戦争前夜

本の街で
「平和」を考える



—「言葉」の力で平和、人権を取り戻そう!—

「改憲・右傾化・戦争を許さない」そんな気持ちで中小の出版社が約20社集まって書籍の即売会をおこないます。
「集団的自衛権」「特定秘密保護法」「原発再稼働」「歴史歪曲主義」「ヘイトスピーチ」など日本社会をとりまく状況は悪化の一途をたどっています。

もちろん、勝手に悪化したわけではありません。社会の構成員ならばだれもがこの状況に責任があります。
とりわけ出版社には「知の供給者」としての責任が求められます。

これ以上傍観者であってはいけない、われわれはなにをなすべきか？

座談会、ミニシンポジウムも交えつつ「平和」を考えるための書籍の販売をおこないます。

- ◆平井康嗣（『週刊金曜日』編集長）ミニ講演会 12:00～13:00
- ◆池田恵理子（wam 館長）× 永田浩三（元 NHK プロデューサー）対談 14:00～15:00
- ◆佐高信（評論家）× 鈴木邦男（一水会顧問）対談 16:00～17:00

●11月1日(土)●10:00～19:00●神保町●STORAGE

戦争前夜 本の街で 「平和」を 考える

11.1

—「言葉」の力で平和、人権を取り戻そう!—

ふと目覚めたら、すべてが茶色に覆われていた。フランク・パヴロフの『茶色の朝』を思い出してなりません。毎日の生活に「国家」がひっそりと忍び込み、市民の行動や考え方をじわじわと支配していく——。安倍晋三政権は、「戦争をする国」そして「個人より国家を優先する」社会に私たちを引きずり込もうと暴走しています。その応援団と化しているのが、嫌韓、歴史歪曲主義、ヘイトスピーチをまきちらす一部の新聞、雑誌、書籍です。遺憾ながら、これらの勇ましいが理屈も品位もない「言葉」はじわじわと浸透し、さまざまところで「萎縮」をもたらし、社会を「茶色」に染めようとしています。このままでは、言論の自由も侵される危険があります。

もう、がまんできません!

黙っているわけにはいきません!

私たちは小なりといえども、平和ですべての人々の人権が守られる社会をめざし、書籍や雑誌を刊行してきました。「言葉」の力でよりよい社会をつくりたいと考え、実践してきました。

まさに、戦争前夜のいま、その証しとなる書籍、雑誌をここに集め、本の街・神保町にてブックフェアを開催することにいたしました。

出版人の良心と情熱と決意を込めて、宣言したいからです。

「戦争への道」を阻止する!

「言論の自由」を侵害させない!

一切の「差別」を許さない!

2014年10月16日

「戦争前夜～本の街で『平和』を考える」参加出版社一同

■参加出版社

あけび書房 大月書店 凱風社 学習の友社 かもがわ出版 金曜日 現代書館 現代人文社 合同出版 高文研 子どもの未来社 コモンズ 彩流社 三一書房 自治体研究社 旬報社 新泉社 新日本出版社 水声社 柘植書房新社 デイズジャパン 同時代社など (10月21日現在)

■イベント

- ◆ 平井康嗣 (『週刊金曜日』編集長) ミニ講演会 12:00～13:00
- ◆ 池田恵理子 (wam 館長) × 永田浩三 (元 NHK プロデューサー) 対談 14:00～15:00
- ◆ 佐高信 (評論家) × 鈴木邦男 (一水会顧問) 対談 16:00～17:00

●11月1日(土)

●10:00～19:00

●神保町 STORAGE

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-6-8 伸幸ビル 4階

神保町駅 A5 出口から徒歩 4分、小川町駅 B5 出口から徒歩 4分、新御茶ノ水駅 B5 出口から徒歩 4分、御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口から徒歩 6分



「戦争前夜 本の街で『平和』を考える」版元合同ブログ

<http://jimbocho-bookmarket.hatenablog.com/> お問い合わせ 事務局 (『週刊金曜日』) 03-3221-8521